資 料

令和4年度

嘉瀬川水系渇水調整協議会

(第1回 委員会)

令和4年4月25日(月)14時~ 武雄河川事務所 嘉瀬川水系渇水調整協議会 設立の趣旨

近年における生活水準の向上、社会経済活動の発展に伴い、水の需要はますます

増大しており、水利用に関しても安定的供給に対する要請がより一層高まっている

実状にある。

また、近年の気象傾向をみるに、平成6年の大渇水を含め少雨傾向が続いている

状況であることから、水需要の増大している中での渇水時における水利用の調整は、

複雑多様化する傾向にあり、今後の渇水時の対応は、総合的な水利用の調整が重要

となってきている。

このようなことから、渇水時における各利水者の円滑な水利用が図られるよう諸

開発施設などの運用ルールを検討し、水利用に関する諸問題を協議する場として「嘉

瀬川水系渇水調整協議会」を設立するものである。

なお、嘉瀬川における過去の渇水調整は、北山ダム及び川上頭首工の既得農業利

水者を中心に水利用の調整が図られてきた経緯がある。 関係機関はこれまで培われ

てきた嘉瀬川における利水実態を踏まえ、日頃から合理的な水利用や節水等に努め、

従来の河川水利秩序との調和を図りつつ、渇水時の水利用を円滑に推進するものと

する。

設立年月日:平成24年10月12日

2

嘉瀬川水系渇水調整協議会規約

(名 称)

第1条 本会は、嘉瀬川水系渇水調整協議会(以下「協議会」という。)と称する。

(目的)

第2条 協議会は、嘉瀬川水系の渇水時における関係利水者間の水利用の連絡及び 調整を円滑に行い、もって合理的な水利用の推進を図ることを目的とする。

(協議事項)

- 第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事項を協議するものとする。
 - 1 水利用の連絡、調整の時期及び方法に関すること。
 - 2 嘉瀬川水系における水利用の実態に関すること。
 - 3 実施及び連絡体制の確立に関すること。
 - 4 その他協議会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

(組 織)

- 第4条 協議会は、別紙の委員によって組織する。
- 2 会長は、九州地方整備局武雄河川事務所長の職にある者をもってあてる。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を掌理する。

(協議会の開催)

第5条 協議会は、会長が必要と認めたとき、若しくは委員の要請があった場合に 開催する。

(幹事会)

- 第6条 協議会に幹事会を置く。
- 2 幹事会は、協議会の運営に関し、協議会に提案する事項をあらかじめ整理する とともに、協議会から委任された事項を処理する。
- 3 幹事会は、別紙に掲げる職にある者をもってあてる。
- 4 幹事会に幹事長を置き、九州地方整備局武雄河川事務所技術副所長の職にある 者をもってあてる。
- 5 幹事会は、必要に応じ幹事長が招集する。
- 6 幹事長は、幹事会の運営に関し必要な事項は、幹事会に諮って定める。

(事務局)

- 第7条 協議会の事務を行うため事務局を置く。
- 2 事務局は、九州地方整備局武雄河川事務所に置く。
- 3 事務局の運営に関し必要な事項は、幹事長が定める。

(規約の改正)

第8条 協議会は、この規約を改正する必要があると認めるときは、委員の総数の 三分の二以上の同意を得て、これを行うことができる。

(雑 則)

第9条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が 協議会に諮って定める。

附則

この規約は、平成24年10月12日から施行する。

 (平成25年 7月 22日 一部改正)

 (平成26年 5月 29日 一部改正)

(平成28年 6月 3日 一部改正)

(平成29年 5月 25日 一部改正) (令和 元 年 5月 9日 一部改正)

(令和 3年 3月 10日 一部改正)

(令和 3年 8月 4日 一部改正)

(令和 4年 月 日 一部改正)

(別 紙)

令和4年 月 日 現在

機関等名	委員	幹 事
農林水産省 北部九州土地改良調査管理事務所	所 長	企画課長
佐賀県 県土整備部	部 長	河川砂防課長 城原川ダム等対策室長
農林水産部	部 長	機山漁村課長 水産課長
健康福祉部 産業労働部	部 長 部 長	生活衛生課長企業立地課長
佐賀市 (建設部) (農林水産部)	市長	河川砂防課長 農村環境課長
小城市 (建設部) (産業部)	市長	建設課長 農村整備課長
佐賀土地改良区	理事長	事務局長
佐賀県筑後川佐賀西部地域推進連絡協議会	会 長	事務局長
九州電力株式会社 佐賀水力事業所	所 長	所 長
佐賀市上下水道局	上 下 水 道 事業管理者	浄水課長 副局長
王子マテリア株式会社 佐賀工場	工場長	事務部部長
杵島工業用水道企業団	企 業 長	事務局長 事務局次長
佐賀西部広域水道企業団	企業長	浄水課長
国土交通省 武雄河川事務所	所 長	技術副所長 保全対策官 占用調整課長 管理課長 調査課長 調査課長 嘉瀬川出張所長
佐賀河川事務所	所 長	技術副所長 管理課長 嘉瀬川ダム管理支所長

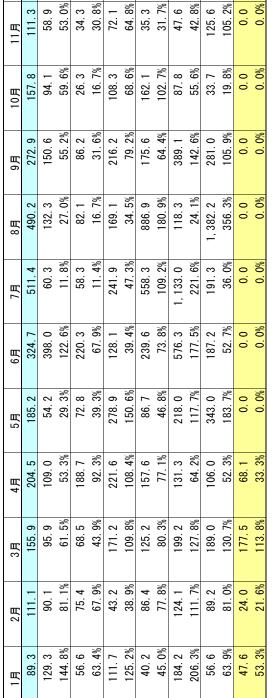
嘉瀬川水系渇水対応行動のタイミング(案)

嘉瀬川ダム貯水率	行動内容
100%	【経過観察】
↓ 70%程度	嘉瀬川ダム貯水状況・河川流況の共有(事務局より1回/月情報提供) 80%程度を目安に「情報共有会議」
70%程度	[自主節水]
♦ ○%程度	「幹事会」若しくは「委員会」を開催し、自主節水の要否等の議論 → 自主節水
60%程度	【渴水調整準備】
↓ 50%程度	「幹事会」若しくは「委員会」を開催し、渇水調整の要否・調整内容等の議論
	【渴水調整】
50%程度	「幹事会」を開催し、渇水調整の要否再確認・(渇水調整)合意事項(案)の策定 ↓ 「委員会」の開催



取水制限等の渇水調整開始

※嘉瀬川ダム貯水率は渇水対応行動のタイミングの目安を示したものであり、具体的な渇水対応行動については、時期及び水利用の状況等を総合的に考慮して判断する。



(吊构円)

昭和53年

 中 右 四

(中均比) 平成6年 (中均比)

平成14年

令和元年

(中 也 兄)

令和2年

(中 払 兄)

令和3年

(中均比) 令和4年 (平均比)

54.4%

102.9% 85.5

53.0%

34.3

103.1

58.9

2.714.4 1, 475.8

100.2

38.9%

85.3%

30.8%

1,055.0

68. 7%

101.5%

64.8%

1,864.0

101.7

72. 1

98.4%

117.4%

31. 7%

2, 671. 6

117.7

35.3

119. 7%

39.6%

42.8%

3, 248.6

39. 7

47.6

113.8%

44. 2%

3, 028.8

44.0

11. 7%

0.0%

0.0

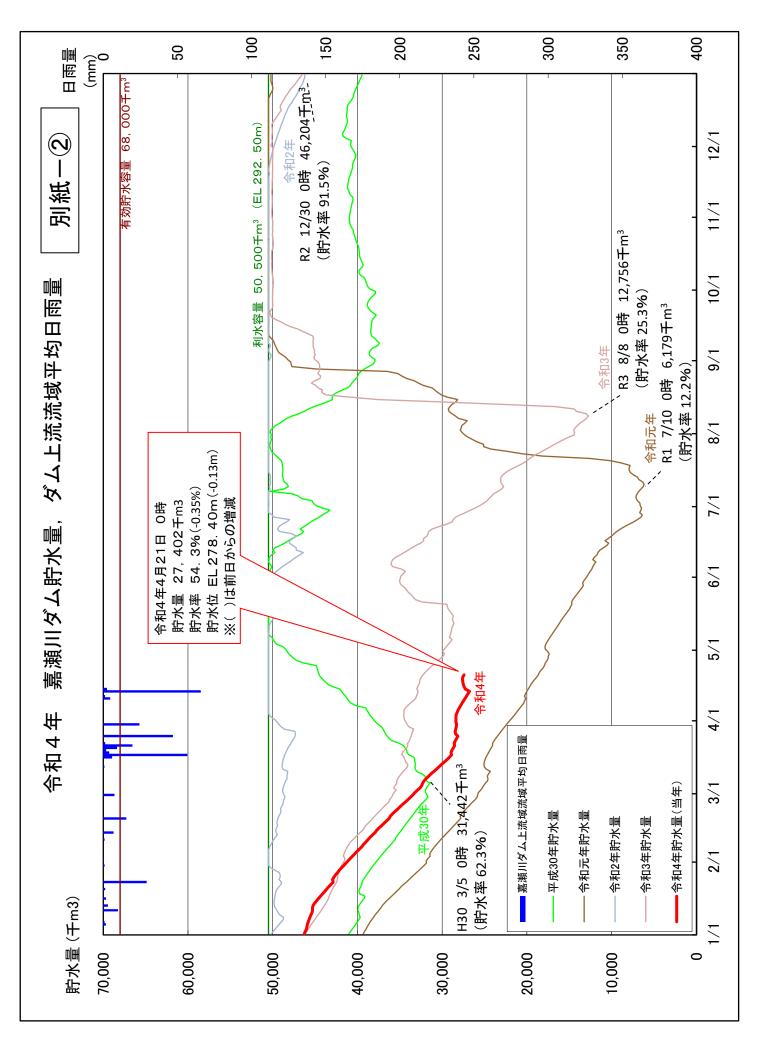
317.2

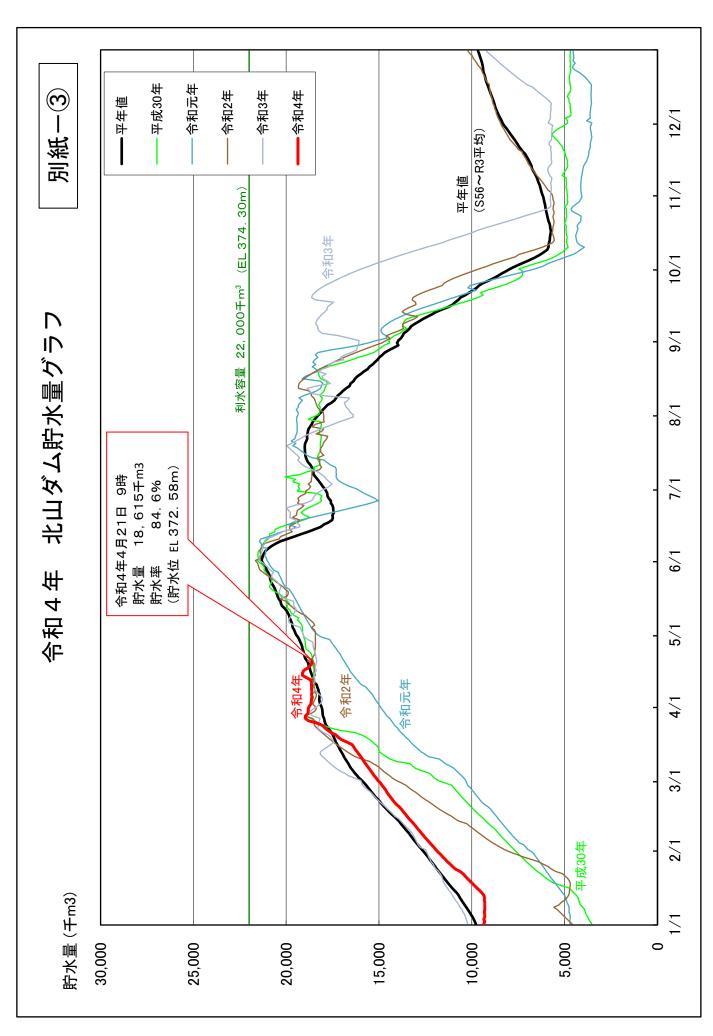
		#11
222 平成6年		- 1 2 4 5 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
		# S
		(F)
		£
	CCCO 昭和53年 CCCO 昭和53年 CCCO 昭和64 CCCO 昭和65 CCCO 昭和66 CCCO 阳66 CCCO 阳66	C

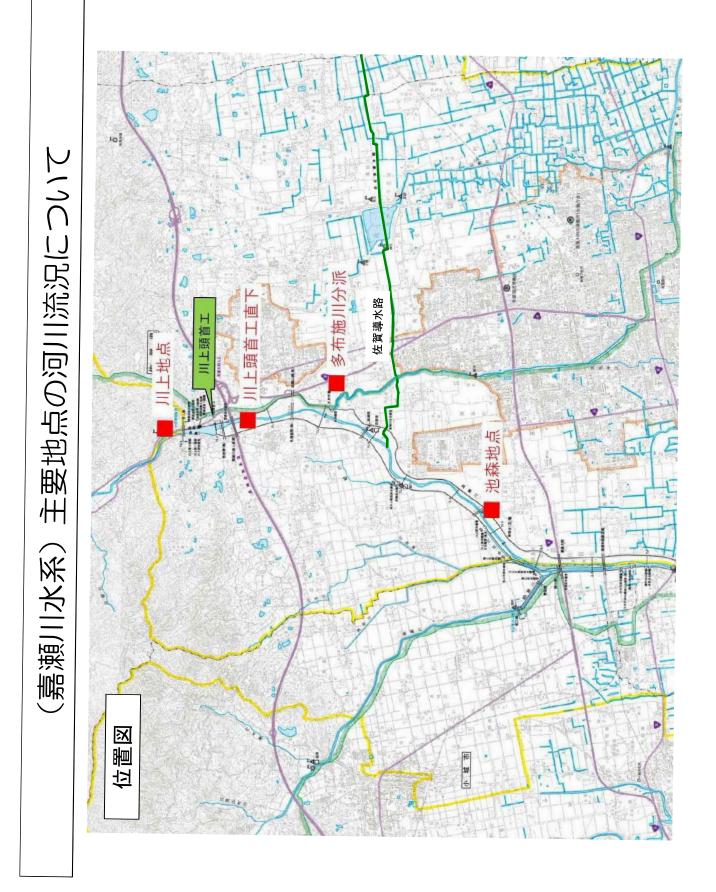
※主に8箇所の雨量観測所(宇渡、古場岳、平松、杉山、嘉瀬川ダム、古湯、名尾、祇園)の観測値から計算した流域平均雨量 ※平均値は2012~2021(直近10年)の平均値

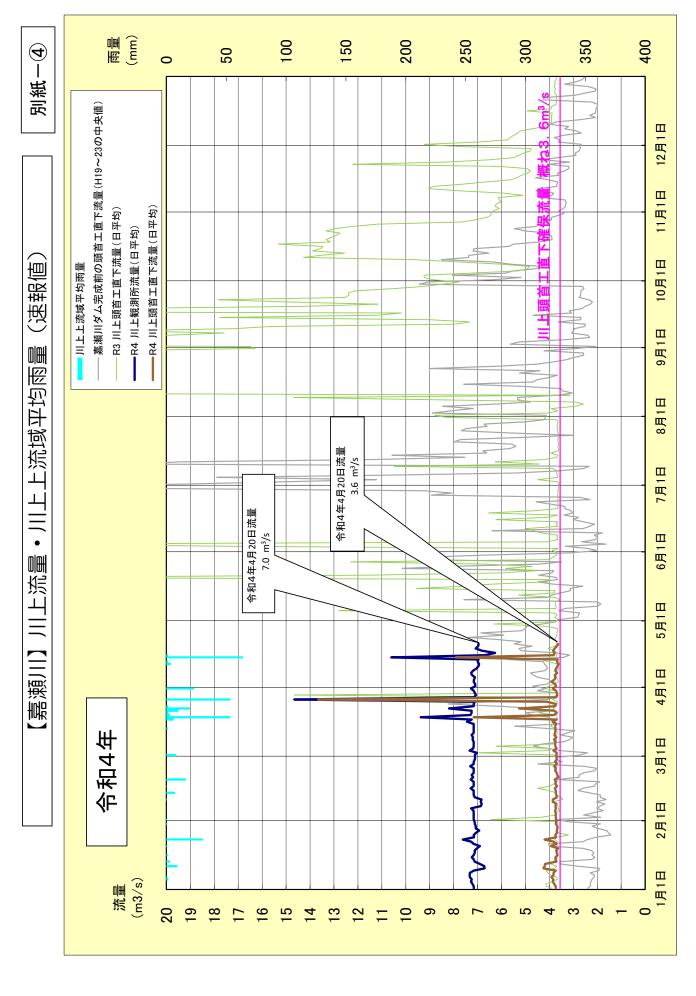
※R4年4月21日0時現在(速報値)のデータ

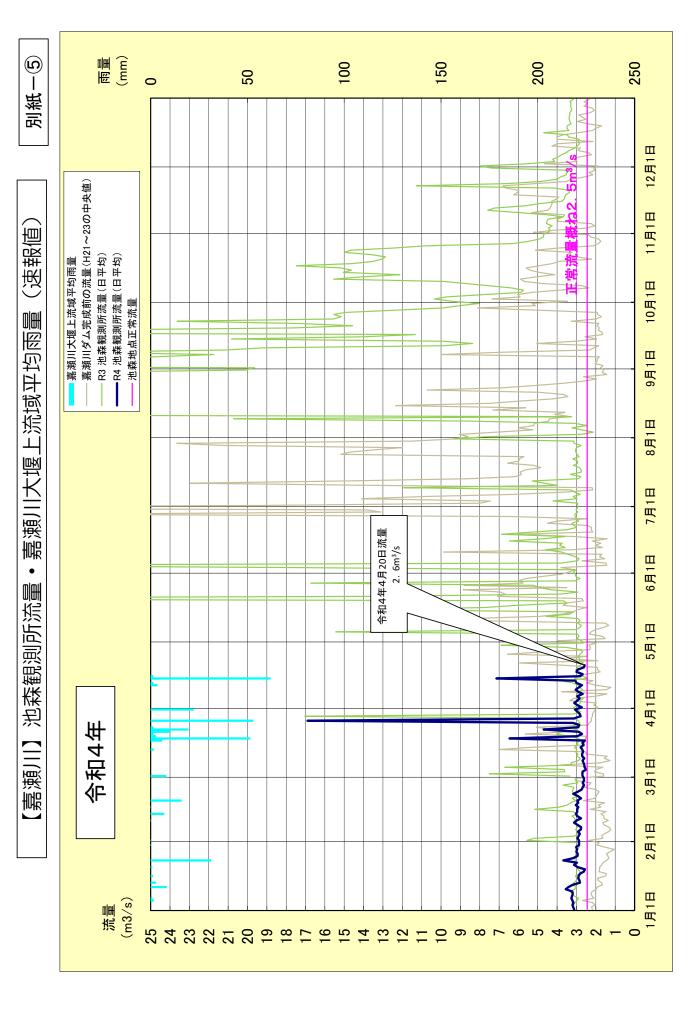
7

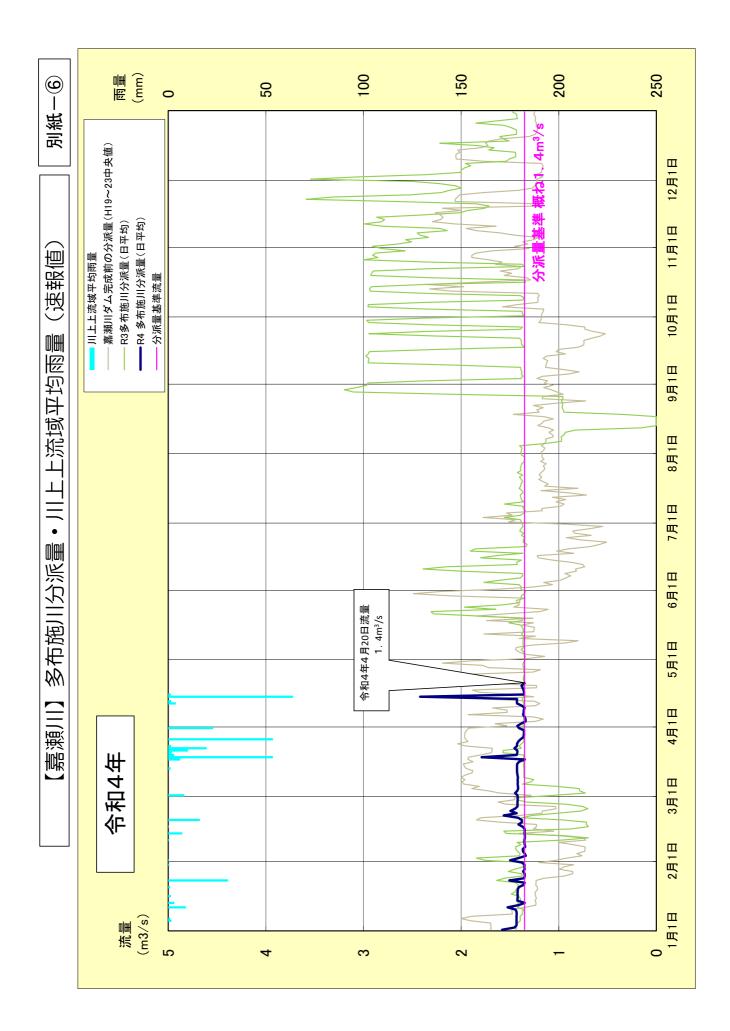










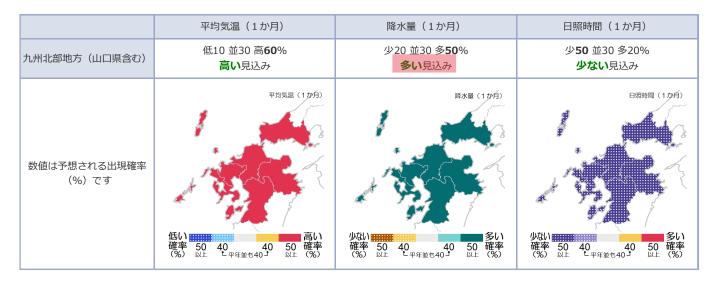


向こう1か月の天候の見通し 九州北部地方(山口県含む) (04/23~05/22)

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため向こう1か月の気温は高く、期間のはじめはかなり高くなるでしょう。
- 気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は多く、日照時間は少ないでしょう。

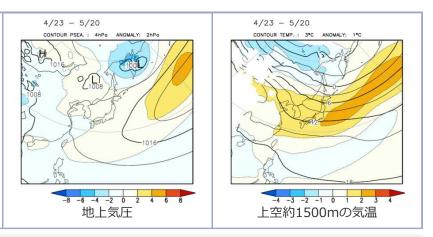
1か月の平均気温・降水量・日照時間



数値予報モデルによる予測結果

1か月平均の地上気圧(左図)は、日本の東で平年より高い一方、オホーツク海付近では平年より低くなっています。高気圧の軸は日本の南海上にあって、華中から東日本付近は相対的に気圧が低く、南から暖かく湿った空気が流れ込んで前線や低気圧の影響を受けやすい見込みです。

上空約1500mの気温(右図)は、東・西日本を中心に全国的に平年より高いと予測されています。



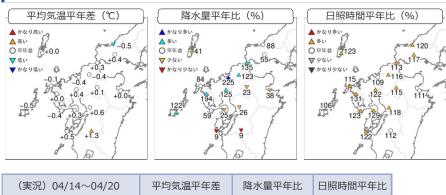
季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します(アンサンブル予報)。 多数の結果の平均(上図など)から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

	平均気温 (1週目)	平均気温 (2週目)	平均気温 (3~4週目)
	04/23~04/29	04/30~05/06	05/07~05/20
週別の天候	前線や湿った空気の影響を受けやすいため、 <mark>曇りや雨の日が多い</mark> でしょう。	天気は数日の周期で変わりますが、 気圧の谷や湿った空気の影響を受けや すいため、平年に比べ <mark>晴れの日が少ない</mark> でしょう。	天気は数日の周期で変わり、平年と 同様に <mark>晴れの日が多い</mark> でしょう。
九州北部地方(山口県含む)	低10 並10 高 80 %	低20 並30 高 50 %	低20 並 40 高 40 %
	高い 見込み	高い 見込み	平年並か高い 見込み
数値は予想される出現確率 (%) です	平均気温 (1 週旬) (低い)	平均気温 (2週旬) 低い 高い 確率 50 40 40 50 確率 (%) 以上 上平年並も40 以上 (%)	平均気温 (3~4週目) 低い 確率 50 40 40 50 確率 (%) 以上 し平年並も40 以上 (%)

明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報(https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/)を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い(少ない)、平年並、高い(多い)」となる確率で表しています。 「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料(https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/kyuhoku1.html)をご覧ください。 文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「<u>参考(確率予報の解説)</u>」をご覧ください。

最近1週間の天候経過



(実況) 04/14~04/20	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
九州北部地方(山口県含む)	+0.1℃(平年並)	81%(平年並)	118% (多い)

参考

確率予報の解説(ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています)

出現確率(低い(少ない): 平年並:高い(多い))	解説	
高い(多い)確率が50%以上	高い(多い)見込み	
(20:40:40)	平年並か高い(多い)見込み	
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み	
(40:30:30) (30:40:30) (30:30:40)	ほぼ平年並の見込み	
(40:40:20)	平年並か低い(少ない)見込み	
低い(少ない)確率が50%以上	低い(少ない)見込み	